

■エアスタベース ST-940 EA913LE-1

■エアスタウイングM ST-940WM EA913LE-2

■エアスタウイングL ST-940WL EA913LE-3

**エアのチカラで着火を  
アシストする 焚き火台**

# エアスタ

ベース ST-940  
ウイングM ST-940WM  
ウイングL ST-940WL



エアスタ ベースと  
エアスタ ウイングL  
の組み付け



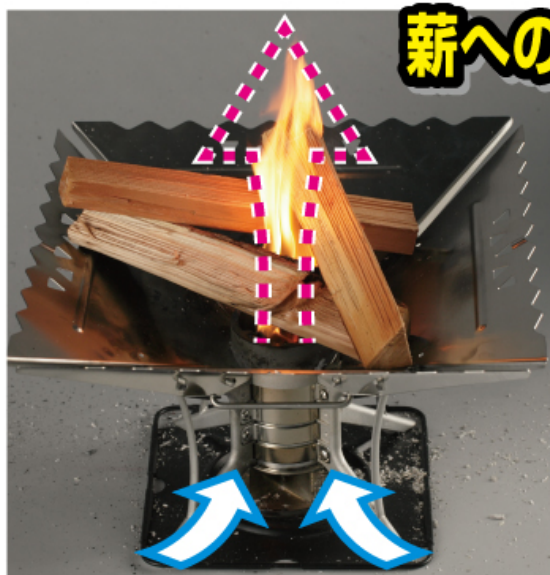
エアスタ ベース



エアスタ ウイング M

※エアスタ ベース、ウイングM、ウイングLはそれぞれ別売です。

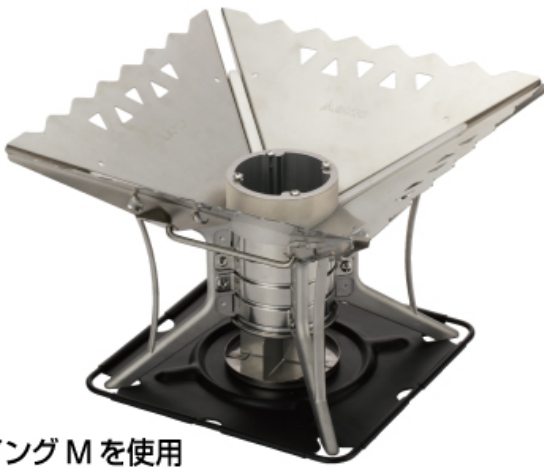
## 薪への着火を容易にする近未来的「焚き火台」



### エア アシスト スタートシステム

中央の筒の下より空気を取り込むことで  
薪への着火が容易になります。

2種類のウイング(火床)により、焚き火台の大きさを変えることができます。

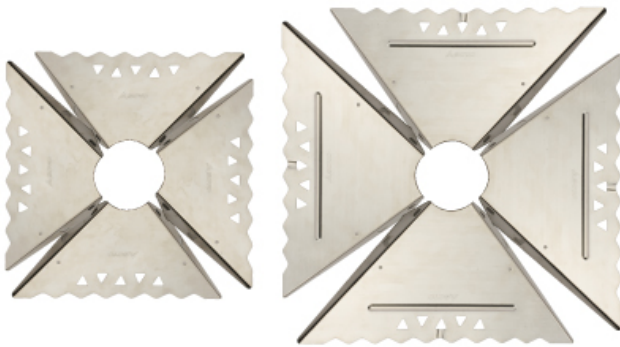


ウイング M を使用

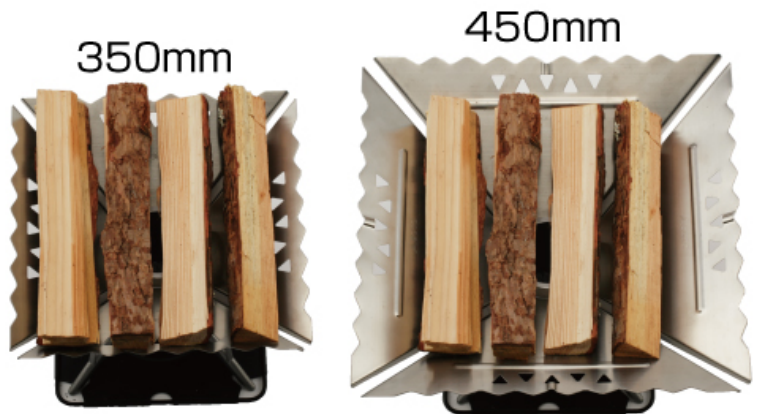


ウイング L を使用

### ■ウイングM、ウイングL 大きさ比較



ウイング4枚を並べて比較



350mm

450mm

同じ薪を置いて比較

### ■利用人数の目安 ※利用人数はあくまで目安の数字です。

**ウイング M = 2~4 人**

使用サイズ / 幅 350× 奥行 350× 高さ 255mm

**ウイング L = 4~8 人**

使用サイズ / 幅 450× 奥行 450× 高さ 285mm

### ■各製品のセット内容



エアスタ ベース ST-940



エアスタ ウイングM ST-940WM



エアスタ ウイングL ST-940WL

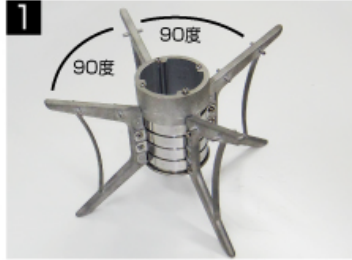


**注意**

ベース(本体セット)、ウイングM(4枚)、ウイングL(4枚)はそれぞれ別売の製品です。  
ベース(本体セット)のみ、ウイング(各4枚)のみでは「焚き火台」として使用できません。

※エアスタ ベースはウイングM、ウイングL、共用です。

## ■組み立ての手順



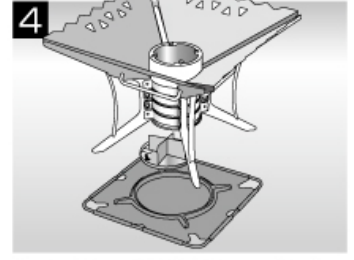
1 ベースの足を両手で持ち、90度  
に広げます。



2 ウイング(MまたはL)を1枚ずつ  
ベースに取り付けます。



3 ウイング取り付け時に本体が多少  
回転する場合がありますので、調整しな  
がら取り付けます。



4 ウイング4枚を取り付けた本体と、  
フィンキャップをアンダートレイの  
中央に置きます。

## ■着火の手順



小枝など燃えやすいものを種火と  
してベース中央の筒に入れます。



先の長いライター等で筒の上、ま  
たは下から着火します。



種火が起きたら焚き木を置きます。着火後、火が安定したらやけどに注意  
して火ばさみ等でフィンキャップを取り外します。



※フィンキャップで横風を筒内に取り込み、種火が安定して燃えるようにアシストします。

無風時に、筒内へ風を取り込むことができない場合は、うちわ等でフィンキャップの横からおおくと効果的です。

## ■炭火の使用法



ベース中央の筒上部をフィンキャップを使い、ふたをすることで、炭火にも対応します。

※フィンキャップは熱で変形する場合がありますのでご了承ください。

## ■灰の捨て方



焚き火、炭火の使用後は、左図のように  
ウイング背面のバーを両手でしっかり  
掴んで灰を捨ててください。

ベースの足を持って行なうと、ウイング  
が脱落して危険です。